

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サポートセンターら・フロレゾン				公表日 令和8年2月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		発達支援室とフリースペースのプレイルームを活用しながら、広いスペースで活動ができるよう工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別対応を行う子どもがいることから、職員の対応人数を考慮しながら支援を行っています。	複数個所への送迎時や職員の体調不良時の対応等、今後も検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		名前や時間・内容など、行動がしやすいように、標示をわかりやすく工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		安全を第一に環境づくりを行っているおり、清掃や清潔衛生に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもの特性や状況に応じて個別対応が行えるよう配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の活動前に業務確認と振り返りを行い、職員間の周知を深めています。	業務改善に向けた会議等行っている。今後はより具体的な改善に向けた取り組みや見直しも行いたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価の内容を真摯に受け止め、業務改善が必要な事項へ取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談の機会を作るとともに、毎日の振り返り等で職員の意見を取り入れるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部の第三者評価を受けてはませんが、審査内容を参考に業務内容の検討・改善に取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内での階層別研修はもとより、事業所で定期的に職員研修の機会を設け、職員の資質向上に取り組んでいます。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		当事業所の支援の実施にあたる『支援プログラム』を作成し、ホームページ上に公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的なモニタリングの時期に合わせてアセスメントを行い、ニーズの状況や新たなニーズの把握に取り組んでいます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画策定の際には家族面談並びに個別支援会議を開催し、参画することで共通理解が行えるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援会議に加えて、計画内容を職員周知する機会を設けています。	事業所としての支援の方向性をより明確にし、1人1人に合った支援の実施に繋がるよう今後も改善を行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなアセスメントとともに、インフォーマルな内容を含めたアセスメントを定期的に実施しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」の5領域、「家族支援」「移行支援」「地域支援」のそれぞれに細分化したニーズから到達目標及び支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムのスケジュール立案で職員間で会議を行い、意見を出し合うことで単調化しないように検討しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		こどもの年齢や理解力・運動力等に合わせた内容や展開を設定することで、興味を持って取り組めるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		気持ちの状況等、本人の状況に応じて個別または集団（グループ・ペア等）を設定し、支援を行っています。	今後は集団での活動に加えて、より個別課題にも注視した計画を作成し、支援を実施します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に活動プログラムの確認をし、時間の流れ・内容、組み合わせ、それぞれスタッフの役割を分担して支援を実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、支援の振り返りの時間を設け、情報共有を行うと共に、早期対応が必要な場合はその都度共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとることを徹底していると共に、事象に応じてヒヤリハット報告書、事故報告書を作成し検証・改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリング及びアセスメントを行い、計画の見直し・新たなニーズの把握を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「本人支援」の5領域に合わせた支援内容の検討や4つの基本活動を複数組み合わせ支援の提供を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動プログラムを検討する際に、こどもが自己選択により実施できる内容を取り入れて立案を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者並びに直接処遇職員が会議に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携が必要な関係機関等とは情報共有を行うことで支援の体制整備に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		個別的教育支援計画やサービス担当者会議等で学校との情報共有は定期的に行い、連絡調整等を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		利用開始時に移行支援シートやサービス担当者会議等を通じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		家族からの同意の上、支援の状況や課題等について障害福祉サービス事業所へも情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		当事業所の児童発達支援事業での連携はあるが、放課後等デイサービス事業所との連携の機会が少ないです。	所管の児童発達支援センターとも今後は連携の機会を作っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		夏まつりやもちつき大会など、地域町内会や児童クラブ、他事業所にもお声掛けし、交流の機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		定期研修会には参加をしているが、協議会並びに専門部会等への参加は現在行えていません。	基幹相談支援センター等にも確認し、協議会並びに専門部会等への参加の機会を検討いたします。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者の迎えの際にこどもの状況を伝える機会を作っていると共に、定期面談において課題についての共通理解を行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者に合わせて勉強会（グループワーク）を行いました。今後もより有用な研修の機会や情報提供を行います。	ペアレント・トレーニング等、改めて実施する機会を検討いたします。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		先般の利用者負担額の変更等、面談時に各御家族に丁寧に説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		サービス評価や面談の機会においてこどもや家族の意向を確認して支援を実施しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画について課題に応じた到達目標と支援の内容を説明した上で、計画の同意をいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		子育てやこどもの状況に関する相談は適宜対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会及び勉強会を実施し、グループワークにて保護者間での交流の機会を設けました。また、夏まつりやもちつき大会ではご兄弟・親族にもご参加いただいています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や苦情について真摯に対応を行い、職員間で情報共有・改善検討を行った上で体制の整備を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		広報誌の発行やホームページブログにより活動の様子等発信しています。	今後はSNSを活用した発信や、当事業所における連絡体制等の情報の発信を実施します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員全員が個人情報について十分に留意して取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		わかりやすさや気付き等、必要な標示等を配慮して行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏まつりやもちつき大会など、地域町内会にもお声掛けし、地域参画への取り組みを行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故・緊急時等各マニュアルを策定し、研修及び訓練を実施しています。	緊急時対応マニュアル等、現状に合わせた見直し等行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		自然災害時・感染症発生時業務継続計画を策定・訓練を定期的に実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前の聞き取りや利用中での病院受診の状況等、保護者にもご協力いただき状況把握を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前の聞き取りにて食物アレルギーの確認・同意をいただき、必要な医師の指示書に沿った対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年度ごとの安全計画を作成し、必要な研修・訓練を実施し、安全管理を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全管理に努め、改善等あれば周知を行っています。	現状の取組内容などを含め、家族周知を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事象についてヒヤリハット報告書の作成を行った上で職員間で共有し、再発防止に向けて検討・改善を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止についての研修・委員会を開催するとともに、必要な情報共有を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		定期的に身体拘束についての研修・委員会を開催するとともに、必要な対応について計画に記載しています。		